

新元号「令和」に込められた意味でもある、「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」時代を築いていくため二〇二〇年オリパラ大会、二〇二五年大阪万国博覧会を契機に、文化にかかわるあらゆる人々の動きを結集して、「文化による**国家ブランド戦略の構築**」と「**文化SDGの拡大**」、そして、**文化財防衛**による日本文化の次世代への確実な継承を目指すことが必要である。「令和」という新しい時代の「**文化立国**」実現に向け、以下のとおり提言する。

一、「**日本博**」をはじめとする「文化プログラム」等を全国各地で実施し、さらに「**国際文化交流の祭典の実施の推進に関する基本計画**」に基づく取組を推進する等「令和」の時代を彩る大規模な文化の祭典、国際文化交流を進め我が国の文化芸術の更なる振興及び次世代への継承・発展、国際発信につなげること。

二、国立劇場の再整備や「**トーハク新時代プラン**」^{※1}の着実な実施等、**国立文化施設**が文化の創造・伝承・発信の拠点としての役割を果たせるよう整備を進めること。また、観光需要や新ビジネス創出の拠点として、「**リーディングミュージアム**」^{※2}等、新たな文化施設の枠組みの検討を進める。さらに、**新時代に即した文化施設**を目指し、博物館法の見直し等、調査研究基盤や運営の強化、学芸員等の資質向上、ネットワーク形成等その機能強化に取り組むこと。また、メディア芸術ナショナルセンター（仮称）の整備を進め、わが国の誇る**メディア芸術**を内外に発信すること。

三、**国際観光旅客税**も活用しつつ、**文化資源の一層の磨き上げ**（多言語解説整備や「**リビング・ヒストリー**（生きた歴史体感プログラム）」等）を図ること。併せて、国等が有する地方ゆかりの名品の展示等**地域の博物館等**での特色ある取組、**クローン技術やVR**等先端技術による幅広い日本文化の展示・発信等を推進すること。また、**日本遺産**のさらなる磨き上げを進めるとともに、文化的価値を活かした**文化資源活用事例の構築・評価**、伝統的建造物群保存地区のにぎわい創出、高等教育機関等と連携した日本文化を学ぶ外国人向け体験コンテンツの作成等、官民が連携して観光振興やまちづくり、地方創生につながる文化資源の活用を進めること。

四、文化財の確実な継承のため、防火・耐震等の防災対策や防犯・テロ対策、適正周期での修理や買取、原材料や道具の確保など**文化財防衛**の取組を着実に進めること。また、**芸術教育や文化芸術体験機会の充実**を図るため、地域の芸術文化活動の拠点を整備し、そのすそ野を広げるとともに、幼少期から一貫した一流芸術家の育成や、伝統芸能を含む伝統文化や芸術の後継者育成に努めること。さらに「**障害者による文化芸術活動の推進に関する基本計画**」に基づく取組を進めること。

五、官民連携によるアート活用観点から「**1%forアート**」等**パブリックアート**（空港や駅での作品展示）による空間の価値向上や日本美術の見本市への支援等による**アート市場活性化**、アーカイブの活用によるファッションや工業クラフトの革新を進めること。また、衣食住などの**生活文化等の振興**を図り、産業界とコラボした製品開発等の革新的取組を推進すること。

六、「文化SDG」に関する国際的な議論を先導する等の文化に関する調査研究や、二〇二〇年オリパラ大会での日本文化の発信、戦略的な広報の充実等、**国家ブランドを構築**すること。

以上の政策を実現するため、文化関連予算の確保・拡充を図ること。また、文化庁の機能強化を図り、文化行政の基盤を迅速に整えること。

※1 平成三十一年二月七日公表。新時代に向けて、世界トップレベルの博物館を目指す東京国立博物館の改革の取組を示したもの。

※2 作品・所蔵品の展示を行いながら、併せて、文化の拠点として、他の分野と連携の下で先駆的な取組を展開する美術館・博物館。